



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信

花便り

16 (2010年3月15日号)

報 告

台北国際花博に園芸福祉の庭出展

6/19(土)

福岡アクロスにて
総会・シンポジウム開催

NPO法人日本園芸福祉普及協会の総会・シンポジウムは、これまで東京(東京農大)で行われてきましたが、第2ステージの展開の一つとして、今年度より全国各地で開催されることになりました。

園芸福祉活動は、全国47都道府県で行われておりますが、記念すべき第1回目の開催地として、福岡(園芸福祉ふくおかネット)が選ばれました。詳しい内容が決まり次第、皆様にお知らせいたしますので、是非、ご参加ください。



2010年11月6日から2011年4月25日までの6ヵ月間、台北で国際花博が開催されます。

「国際庭園」の企画提案コンペに福岡より園芸福祉の庭を応募したところ、34カ国団体とともにエントリーされました。台北が祖国である園芸福祉ふくおかネットの陳さんが、園芸福祉を台湾にも普及したいとの熱い思いを沖本円さんが具体化したものです。わたくしたちにはとても大きな事業なので、躊躇しましたが、挑戦してみたい気持ちが強く、園芸福祉ふくおかネット有志、雨水ネット関係者、造園関係者などが実行委員会を作り支援していくことになりました。台北花博の開催理念園芸、ハイテク、環境保護に関する技術の集結に対し、アジア・エコ・園芸福祉の3つの視点で共感を持ち、庭のテーマを『エコ・アジア・五感の庭』としました。交流の視点で現地の園芸・福祉環境を理解してくれる仲間を作り、ともに制作していくことにしています。開催中6ヵ月間はステージ広場などで、園芸・環境福祉をPRできるようにしていますので、教室開催など大いに活用してください。

初日には日本文化の高峰である裏千家茶会など企画しています。3月は日本月間でお雛まつりや日本各地の物産の紹介などおこないます。又、この庭の披露のため「国際園芸福祉フォーラム・雨水フォーラム」など行い、現地大学とも交流をふかめます。花博終了後は「園芸・環境福祉台湾ネット」が、たちあがるでしょう。成功させるためこれから園芸福祉関係者の知恵と技術が必要になってまいりますので、皆様のご協力お力添えをよろしく願います。釜山に引き続き、台北ともアジアの輪が広まろうとしています。そして陳さんの熱い思いをかなえてあげてください。台北はみどりの多い街です。食べ物も美味しく、何よりも好日的です。花あふれる台北国際花博にぜひお出かけください。後日旅のご案内もいたします。

角銅久美子



事務局からのお知らせ

年会費納入のご案内

平成22年度の年会費(2,000円)の振込用紙を同封しておりますので、4月30日(金)までに最寄りの郵便局より、お振込みください。

*平成22年度は平成22年4月1日より、平成23年3月31日までとなります。

福岡城さくらまつりのご案内

3/18(木)~4/4(日)福岡市内にある舞鶴公園で「福岡城さくらまつり」が開催され、グリッピキャンペーン実行委員会からの依頼で、園芸福祉ふくおかネットで制作したハギングバスケットが展示されます。

また、3/20(土)は緑のコーディネーターの山崎博子松永加代子さんによる工鉢寄せ植え体験講座3/22(月・祝)は、井上妙子さんと黒瀬でハギングバスケット体験講座を行います。皆さん、お揃いでお出かけ下さい。

事務局 黒瀬恵子



第三回 福岡県花のアドバイザー研修会

のお知らせ

3月22日(月・祝)吉田俊道氏 講演会

「生ごみパワーで、
元気な花を咲かせましょう！」

NPO法人 大地といのちの会
理事長 吉田 俊道 氏

受付 午後12時30分より

会場 福岡県NPO・ボランティアセンター
会議室 福岡県吉塚合同庁舎(5F)
福岡市博多区吉塚本町13-50

参加費 500円

実技指導とばかしのお土産付き
手袋、エプロンをご持参ください。

定員 60名

プログラム 13:00~16:00

主催: 福岡県農林水産部園芸振興課

共催: 園芸福祉ふくおかネット

エイっ!友主催

高山果樹園・見学ツアー(田主丸)

【参加者募集!】

日程: 3月27日(土)

田主丸で春の始まりを感じてみませんか? ガーデニング好きのご主人が、果樹園内でたくさんのお花を育てています。美しく可憐なクリスマスローズ、めずらしい「結麗桜」をお楽しみください。(定員15名ほど)

JR田主丸駅/10:00集合

高山果樹園さんについて詳しくはホームページ <http://t-kajuen.com/> をご覧ください。

お申し込み・お問合せ先/吉川香奈子
までお願いします。携帯09011685812
e-mail: yoshiko120@hotmail.co.jp



さぁ~、ゴールデンウィークの楽しいお誘いが2つ
どちらも定員10名です、お申し込みはお早めに!

釜山《花の祭典》

場所/釜山で国際交流花壇制作&式典参加

日時/4月28日~30日(2泊3日)

参加費/35,000円(船)

締め切り/3月20日

主催/園芸福祉ふくおかネット

《土だま植木鉢づくり》

場所/大分県別府市(土の屋工房)

宿泊/九重の山荘(温泉付き)

日時/5月4・5日

1日目/10:00~15:00まる鉢づくり

2日目/9:30~12:00小鉢・オブジェ

参加費/10,000円(材料、研修費、宿泊食費)交通費別途

主催/台湾花博覧会実行委員会

各お申し込み先担当/角銅久美子

携帯090-3076-7710

報 告

初級園芸福祉士の認定試験結果を待たずして「花のアドバイザーモデル派遣」で地元の小学校2校（柳川市立垂見小学校、昭代第2小学校）へ行ってきました。

[2月17日 ^{たるみ}垂見小学校]

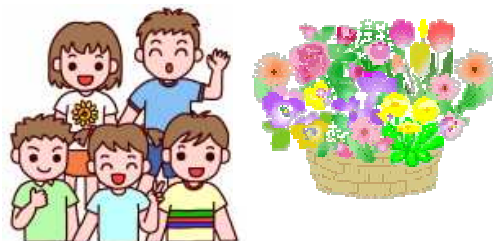
「卒業式と入学式を花で迎えたい」という思いを実現するために、教諭2名、環境クラブ15名、花のアドバイザー5名の活動です。[爺ちゃんが家でしているから] と言って、器用に作業する男の子がいたり、思い思いの花苗で、可愛い40鉢もの作品が完成しました。

[2月22日 昭代第2小学校] ~ 日本地図花壇作り ~

桜の木の根元には、校長先生と生徒で作られた、日本地図が沖縄から北方領土迄、大小様々な石を寄せ集めて、形取られ、更に県名を書いた立札が立ててあります。3年1組の生徒33名と先生2名、6名のアドバイザーが6班に分かれて、地図を修復したり、花を植えたり元気な日本が完成しました。

全員で地図花壇を沖縄から北へと見てまわり、にぎやかに感想や意見が飛び交いました。また、生徒たちからお礼の言葉を聞いた事が嬉しく思えました。生徒たちの喜んでいたり楽しい仕事と達成感への喜びが、私たちへも相通じるものがありました。毎月、学校新聞「ひしの実」が発行されていますが、早速、今回の活動を掲載していただきました。また、アドバイザー6名分のスナップ写真集まで作成してくださった校長先生ありがとうございました。柳川でも、今回の経験をスタートラインとして、「赤・白・黄色」元気いっぱい、笑顔の花壇隊で頑張りたいと思います。

龍 節子



会員紹介

森 弘子さん、藤中美恵さん、栗谷ますみさん

私たち3人は、1年半前とあるランニング教室で出会い、美ジョガー3姉妹として意気投合しました。スピードを競わず、マイペースでゆっくりと自然や景色を楽しみながら走るスロージョグ、ファンランニング派です。死ぬまで10km走れる身体力を維持し、三途の川もバシャバシャ走って渡る！を目標に10数名でランニングクラブ「ひよこ組」を設立し活動中です。このような健康と幸運に恵まれたことを感謝し、ささやかでも何か社会に貢献したいと考えてきました。そこで出会ったのが園芸福祉だったので。3人とも半世紀を走りぬき、やや息切れしつつ人生の折り返し地点を過ぎましたが、園芸福祉という新しい景色と出会いに恵まれ、また元気が湧いてきました。どうぞ宜しくお願いします。

ランニングシーズンには大会やレースを優先させてしまう困り者ですが、どうか長い目で見てやってください。



あなたも活動紹介をしませんか？

個人やグループで、学校、地域などで行っている園芸活動をお知らせください。メールやお手紙に写真を添えてお送りください。

送り先 / 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット事務局 黒瀬恵子 宛

E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

皆様からのお便りをお待ちして
いま～す。



古賀市で「第2ステージ」スタート！

古賀市緑のまちづくりの会で「放置されているJR古賀駅前ロータリーの花壇をきれいにしよう」との提案を受けて、一昨年園芸福祉士の仲間に入った中村会員が積極的に動きました。まず昨年度の養成講座受講の梶原会員と提案者の安部会員で「咲かす会」を立ち上げ、チラシをつくり、JR駅をはじめ、駅前商店街と町内会の役員の家を訪問し、古賀の表玄関美化の協力依頼を始めました。約束の2月20日午前10時、心配された町内からの参加者が12名、事情を知った市外からも5名の参加があり、「緑の会」会員を含め25名ほどの参加者、にぎやかな花壇植栽の作業となりました。花壇は[緑の会]で育てたネモフィラとポピー、少しのノースポールでデザインし、地域の方々によって植え付けられました。この事業で特筆されることは、これまでは「緑の会」で引き受けた作業は会員だけで完結する傾向にあったものが、少し様子が変わったことです。時期を同じくして古賀市でも景観街づくりセミナーが開催される運びもあり、市民みんなで作り上げる街づくりであることを十分に意味づけられた作業であったと思われます。この「咲かす会」のスタートは、古賀市園芸福祉の「第2ステージ」の始まりともいえそうな作業でありました。

第2回 福岡県花のアドバイザー研修会(2/28) 報告 「植物にとっていい土とは」 参加者40名

講師の日本園芸福祉普及協会理事・谷口博隆さんは、この日のために、解りやすい「コツのコツ」を疑似体験に近い講座として工夫してくださいました。3週間も前から、プランターに対比する培養土(値段の違い)に植物を植え付けた標本。土によって植物の根の張り方がハッキリと違うのを見たとき、値段で土を選ぶのではなく、中味をしっかりと確かめて買うことの大切さを知りました。また、改良材としての石灰も使い方では、まるでレンガのように硬くなってしまう土の現物を見せていただきました。これも驚きでした。もちろん『土』の3大要素、肥料の5大要素の基本、受講者が持参した検体の土壌pH測定等々、大変参考になり、園芸の自分度チェックに役立つ研修になりました。スキルアップには「普段、解っていたつもり」をもう一度、チェックすることが必要だなと感銘を受けました。

新屋 勲

園芸福祉ふくおかネット事務局

- TEL 090 - 8626 - 1586(黒瀬)
- E-mail engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- URL www.engeifukusi-fukuoka.net
- 〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25
- ネット通信 花便り 編集者 米倉治美・尾島修子